黒羽山　大雄寺

雄禅会かわら版　秋号

皆様へ・・・。

坐禅が終わり、作努を行います。いつもお世話になる坐禅堂、廊下、本堂、境内、参道と掃除をします。綺麗な時も、落ち葉が舞うときも、雑巾を持って、箒を持って掃除をします。掃除をしていても、ただひたすら、何も考えずに行います。いつしか、気持ちは雑巾と一緒になり、箒と一緒になります。

そして、作務の終わりと同時に心が洗われた気がするのです。坐禅が終わった後の掃除も体こそ動いているけれど、これも禅なのだなと思えます。

ここで坐ってみませんか。

会長　目面靖浩

☆この方にインタビュー

今回、秋号は、村岡真理（まさみち）さんです。

Q１．坐禅会に参加のきっかけはなんでしたか？

A１．偶然に訪れた大雄寺様の瓦葺き屋根の禅堂、本堂、他お寺の佇まいとご方丈の飄々としたお人柄に魅せられたことです。

Q２．お住まいは、どちらですか？参加されて何年ですか？

A２．栃木県さくら市在住です。参加して七年になります。

Q３．座禅をしていかがですか？

A３．只管打坐、只坐るという目的のない行為の為に時間を使う心の余裕を持ち続けたいです。

Q４．参加されていての感想は、いかがですか？

A４．ご方丈をはじめとして雄禅会の皆さんと過ごす月に二度の坐禅の時間がこの上ない贅沢であると感じております。

いつもにこやかにお話しをされている村岡さん。ありがとうございました。

～秋の句～

小村翠香

涼しさや抹茶にほはす四畳半

空（うつ）蝉の空（から）になるらむ坐禅会

雄禅会・今後の活動

☆毎年恒例の日帰り研修旅行の日程です。十月二十日（日）高崎の達磨寺参拝。詳細は、坐禅会にてプリントを配布中。皆さんのご参加をお待ちしております。

☆十一月の坐禅会では、禅堂で応量器の使い方を学びます。

☆十二月八日（日）坐禅終了後、年末大掃除

☆十二月二十一日（土）～二十二日（日）親睦忘年会と特別修行の会。夜坐、早朝坐禅、応量器での小食など盛りだくさんです！

お寺こらむ

今回の寺こらむは、夏の寺スクールでの”子どもたちの感想”をお伝えすることと致します。

【全体】・この一泊二日はとても楽しかった。お寺での色々な決り事がたくさんあったけど、充実した一泊二日を過ごせた気がする。短かったけど、友達ができたし、みんなで協力できた。写仏がとても楽しかった。来年も来たい。（中１）

・トイレをとうすといったり、そうじを作務といったりしてふしぎでした。・いただきますのいみと、しきいをまたぐことです。いただきますは、しょく物のいみや動物のいのち、あと動物がたべた虫とかのいのちをいただきます。それに何人もの人の手をとおした物を「いただきます」。（小３）くつをそろえる事も大切だと分かった。（小４）

【坐禅】・警策をしてもらった時、少し痛かったけど警策を受けてから背すじをピンと伸ばし集中して坐ることができました（小６）・

二日目の坐禅で足がいたかったけどがまんをしてやった。（小５）・思ったより足がしびれて痛かったです。２日目の朝にやった坐禅は、しびれたけど、少しなれました。（小６）

【作務】・久しぶりにまめができるほど、ほうきをはけました。楽しいと初めて思えました（小６）・長いろうかをぞうきんでふいた。大変だった。（小３）・草むしりとぞうきんがけをやりました。草むしりでは草をぬくのが大変で、ぞうきんがけはがんばりました。（中１）・やってみるとけっこうつかれた。けど、きれいになってうれしかった。（中１）

写仏体験。

※筆で写仏をして竹の額を作り、お土産もできましたね。

合掌　住職